

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名:水戸市 建設部 建設計画課

事業の名称:都市計画道路3・4・8号

元台町河和田線(泉台工区)整備事業

実施都市名:茨城県水戸市

事業目的

本市の人口が急増し、かつモータリゼーションが進展していた昭和40年代、南側に拡大する新市街地を東西に結ぶ環状道路の建設が求められ、本路線の前身となる都市計画道路が計画決定されました。

当該工区はこの路線を全線開通させる最後の事業箇所であり、供用済み区間における交通円滑化の効用をさらに増大させることを目的に事業化したものです。

事業概要

事業名称: 都市計画道路3・4・8号元台町河和田線
(泉台工区)整備事業

路線名: 都市計画道路3・4・8号元台町河和田線
(泉台工区)

事業箇所: 茨城県水戸市千波町, 元吉田町

事業延長: L=277m

幅員: W=18.0m(2車線)

事業費: 1,667百万円

事業実施期間: 平成9年度～平成23年度

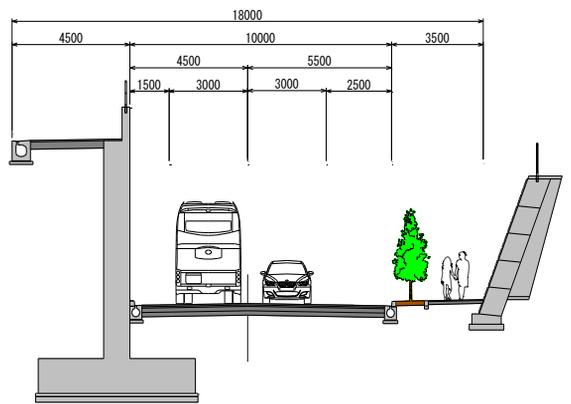
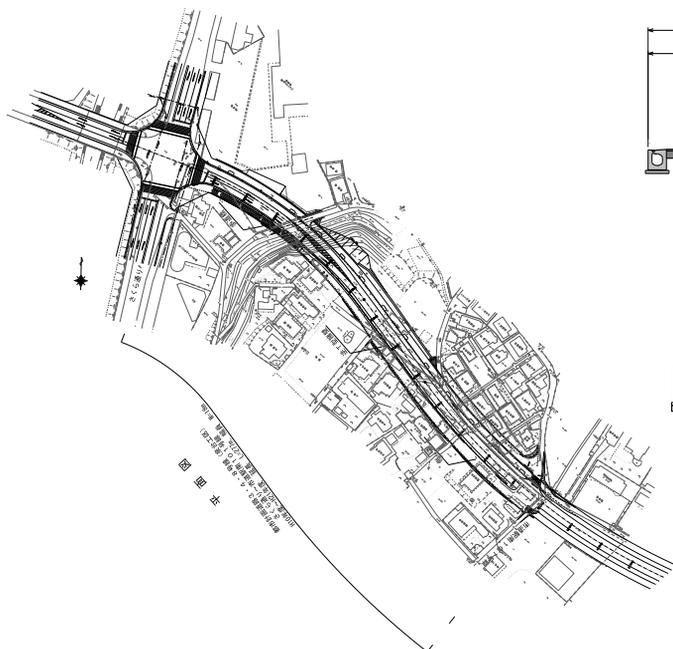
都市計画道路3・4・8号元台町河和田線の最後の工区となった泉台工区は、逆川の侵食谷に位置する都市計画道路3・3・16号線梅香下千波線と、元吉田町の台地を結ぶ新設道路であり、高低差が約20mもあるのが特徴です。

整備済みの放射状道路が本工区の完成により連絡され、東西方向の新たな移動経路が誕生したことから、交通の円滑化の大きな事業効果がありました。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



元台町河和田線の整備効果アピール資料

夢の環状道路 完全開通！

内環状線を構成する
東西軸の完成により、
本市の都市基盤が
刷新しました。



通勤路としてすっかり定着した開通区間
(3・3・16号線との交点を東から望む)

○事業概要

事業名: 都市計画道路3・4・8号元台町河和田線(泉台工区)整備事業

路線名: 都市計画道路3・4・8号元台町河和田線(泉台工区)

事業箇所: 茨城県水戸市千波町, 元吉田町

事業延長: L=277m

幅員: W=18.0m(2車線)

総事業費: 1,667百万円

事業期間: 平成9年度～平成23年度

「整備効果」

全長L=6,750mの元台町河和田線は、水戸市が事業主体となった都市計画道路としては、初めて完成させた環状道路であり、事業着手から実に40年以上の年月を要しました。このため、各工区では、その時代のトレンドを反映した道路景観整備手法を観察することもできます。

本路線の最後の工区となった泉台工区の完成により、水戸駅の南側に広がる郊外住宅地や業務地の交通需要の受け皿という機能が補強され、中心部を通らずに東西方向へ移動することが可能となりました。

中心部の交通混雑を緩和しただけでなく、東日本大震災においては、避難経路や物資の輸送経路として重要な役割を果たしました。

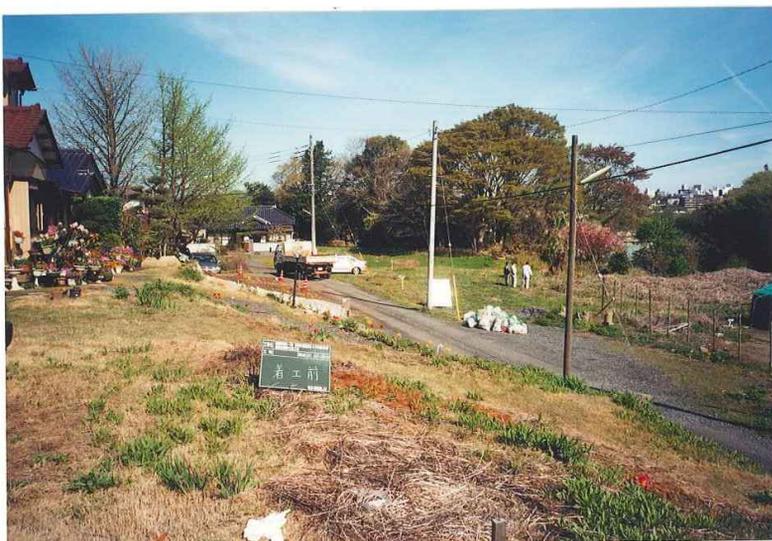
事業前写真



平成15年5月撮影



平成15年5月撮影



平成15年5月撮影

事業後写真



平成25年1月撮影



平成25年1月撮影



平成25年1月撮影